

交通事故発生状況（令和8年3月末現在）

1 交通事故発生状況

(1) 全国及び管内各県の死者数

区分	令和8年	令和7年	増減数	増減率
全国	596	614	-18	-2.9%
管区計	79	69	+10	+14.5%
富山	8	8	0	0%
石川	6	3	+3	+100.0%
福井	2	6	-4	-66.7%
岐阜	8	12	-4	-33.3%
愛知	38	25	+13	+52.0%
三重	17	15	+2	+13.3%

(2) 県下の交通事故発生状況

区分	人身件数	死者数	負傷者数	
			負傷者数	重傷者数
令和8年	681	8	809	92
令和7年	716	12	872	104
増減数	-35	-4	-63	-12
増減率	-4.9%	-33.3%	-7.2%	-11.5%

注: 令和8年の人身件数・負傷者数は速報値。

(3) 月別死者数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和8年	5	0	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和7年	4	1	7	3	3	6	5	8	3	3	6	6
増減数	+1	-1	-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(4) ブロック別死者数

区分	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨	高速隊
令和8年	1	4	2	1	0	0
令和7年	3	1	2	4	2	0
増減数	-2	+3	0	-3	-2	0

(5) 年齢層別死者数

区分	子ども	高校生	若年者	25～59歳	60～64歳	高齢者
令和8年	0	0	0	2	0	6
令和7年	0	0	0	2	0	10
増減数	0	0	0	0	0	-4

2 死亡事故(8件、8人)の特徴

今年の死亡事故は8件8人発生し、前年同期より4件4人減少している。
岐阜県の全国順位(ワースト)は、死者数23位、増減数38位。
また、人口10万人当たりの死者数は0.42人、ワースト33位。(全国平均:0.48人)

(1) 高齢者の死者が約8割

高齢者の死者が6人で、前年同期より4人減少し、全死者(8人)の75.0%を占め、このうち自動車乗用中の死者が3人(運転者2人・同乗者1人)、歩行者2人、自転車1人であった。

(2) 交差点での事故が6割強

交差点での事故が5件で、前年同期より1件増加し、全事故(8件)の62.5%を占め、いずれも信号機のない交差点での事故であり、このうち出会い頭事故が3件、対歩行者事故が2件であった。

(3) 高齢運転者による事故が約6割

高齢運転者による事故が4件で、前年同期より2件増加し、全運転者事故(7件)の57.1%を占め、このうち70～74歳、80歳以上による事故がそれぞれ2件であった。

(4) 歩行者・自転車の死者があわせて5割

歩行者(2人)・自転車(2人)の死者があわせて4人で、前年同期より3人減少し、全死者の50.0%を占め、このうち高齢者の死者が3人(歩行者2人・自転車1人)で、歩行者はいずれも横断歩道横断中であった。

《 その他 》

○ 夜間の事故が4件で全事故の50.0% [前年:6件・全事故(12件)の50.0%]

○ 若年運転者事故が0件/全運転者事故7件 [前年:1件・全運転者事故(11件)の9.1%]

○ 飲酒関係事故が0件/全運転者事故7件 [前年:2件・全運転者事故(11件)の18.2%]

注: 若年は24歳以下、高齢は65歳以上をいう。

夜間は日没から日の出までをいう。

運転者事故は原付以上運転者が第1当事者(主たる原因)となった事故をいう。

飲酒関係事故は原付以上の第1当事者が飲酒状態による事故で検知不能を含む。

3 「30日死者」(24時間を経過し30日以内に死亡した者)

30日死者は0人で、前年同期より1人減少した。

※ 3月末で死亡を確認したもの

【過去10年間の死者数推移】

年別	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
3月末	31	15	24	22	14	16	12	5	15	12	8
年間	90	75	91	84	43	61	75	50	70	55	...